

社会産業理工学研究交流会へようこそ！

～知る・感じる・そして共創へ～

大学院社会産業理工学研究部長

武 藤 裕 則

令和8年度社会産業理工学研究交流会を開催いたします。本交流会は、本学における多様な研究成果を社会に公開し、理解を深めていただくとともに、学内外の研究交流、産官学連携の推進を目的としています。多くの方々のご協力を得て、本年度も大学院社会産業理工学研究部並びに大学関係組織が一堂に集まる貴重な会を開催できることに、心から感謝申し上げます。

今回、特別講演としては、国立研究開発法人産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域 安全科学部門・IDEA ラボの招聘研究員である篠原嘉一様に「酷暑（こくしょ）日、その上は極暑（ごくしょ）日？止まらぬ地球温暖化に向けて、研究現場でできること」の題目でご講演いただきます。

若手及び注目研究者の部では、社会総合科学域・理工学域・生物資源産業学域から選出された11名の方に講演いただきます。ポスターセッションの部では、徳島大学創成科学研究科博士後期課程の学生7名に加えて、阿波銀行学術・文化振興財団研究助成採択者、先端理工学教育研究プロジェクト採択者、常三島キャンパスの各関連研究所・センター、さらには学外から徳島県立工業技術センター、香川大学の方々をお迎えし、計44名の皆さんに出展いただきます。また、若手及び注目研究者、ポスター発表の表彰者を選定する評価委員として、産学連携に協力いただいている企業から6名の方々に参加いただいております。

以上の参加者に加えて、企画から会場準備までを担っていただいた研究推進委員会委員、事務局をはじめとする多数のご協力に深く感謝いたします。さらに、今年度も昨年度に引き続き、四国経済連合会、公益財団法人とくしま産業振興機構のご後援をいただきました。重ねて感謝申し上げます。

この催しが、本学教職員、学生はもとより、学内外の連携機関や企業の方々にとって、多様な大学での取り組みを知っていただき、また人となりを感じ、新たなひらめきや協働を創造する「共創の場」となることを願っております。